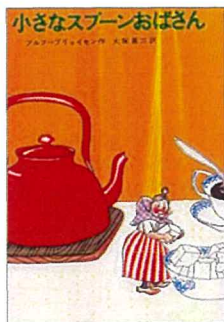


# おはなし トレイン



## 3・4年生



### ちい 『小さな スプーンおばさん』

アルフ＝プリオイセン/作

ビョールン＝ベルイ/画

おおつか ゆうぞう やく  
大塚 勇三/訳

がっけん  
学研

ある朝、目をさますとティースプーンくらいに小さく  
なってしまったおばさん。きょうはそうじにせんたく  
と、やることがたくさんあるのに…。そこでおばさん  
はネズミやネコたちを使って、家じゅうのそうじをし  
ました。さあ、こんどはせんたくです。小さくなくても  
だいじょうぶ！ ゆかいな方法で問題をかいけつす  
おばさんの12のおはなしです。

## 1・2年生

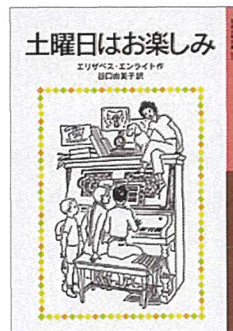


### 『けんだま しょうぶ』

にしひら あかね/作  
ふくいんかんしよてん  
福音館書店

けいくんがあそびに出かけた先で「けんだましょう  
ぶ」をします。しょうぶのあいては、きつねにたぬき、  
まじよにてんぐ。そんなあいてがもっているけんだま  
は、「たま」がみかんになったり、「けん」がざりがに  
になったりと、へんてこりんなものばかり！ さて、ど  
のような「けんだましょうぶ」になるのでしょうか？  
読めばきっと、けん玉あそびがたくなりますよ。

## 5・6年生



### どようび たの 『土曜日はお楽しみ』

エリザベス・エンライト/作  
たにくち ゆみ こやく  
谷口 由美子/訳  
いわなみしよてん  
岩波書店

ニューヨークに住む4人きょうだいは、せつかくの土曜  
日が雨になり、退屈でたまりません。そこで思いつい  
たのは、毎週土曜日に1人が全員のおこづかいを使  
って好きなことをするクラブでした。そうすれば今まで  
あきらめていたこともできるのです！ きょうだいたち  
は、ちょっぴり大人になった気分、わくわくドキドキし  
ながらニューヨークの街へ出かけていきます。





## 『しりとり』

あんの みつまさ  
安野 光雅/さく・え  
ふくいんかんしよてん  
福音館書店

さあ、しりとりをはじめましょう。絵のあるページをひいたら、好きな絵をえらび、つぎのページへ。うし、しか、からす…さいごは「ん」でおわれるでしょう。おられない時は、さいしょのページを見てください。ふしぎふしぎ、しりどりのつづきができるのです。やってみるたびに、ちがったことばの道をとおり、なんどでもワクワクできる絵本です。



## 『ロザリンドの庭』

エルサ・ベスコフ/作  
うえがき あゆこ え  
植垣 歩子/絵  
ひしき あきらこ やく  
菱木 晃子/訳  
あすなる書房

びょうき がちで、いつもベッドからかべ紙をながめて  
いるラーシュ・エリック。ある日、かべ紙にできたドア  
から、ロザリンドという女の子があらわれました。  
ロザリンドが花をかざれば食べ物おいしく、歌を  
うた 歌えばきもちよくねむれます。ドアのむこう、色とり  
どりの花がさくロザリンドの庭であそぶうち、ラーシ  
ュ・エリックはどんどん元気になっていくのでした。

『くらやみ  
きんしの国』

エミリー・ハワース＝ブース/さく  
おおつか のりこ/やく  
あかね書房

あるところに、くらやみがこわい男の子がいました。  
この子は王子さまだったので、大きくなって王さまにな  
ったら、この国を「くらやみきんし」にしようときめた  
のです。たいようがはずんでも、じんこうたいようが  
てっています。あかりをけしてはいけないし、あさも  
よるもずーっとあかるいので、ねむろうとおもって  
も、ねむれません。さあ、どうなるのでしょうか？

『くもとりの  
イノシシびょういん』  
7つのおはなし

かこ さとし/文・絵  
なかじま かめい/絵  
ふくいんかんしよてん  
福音館書店

くもとりのふもとにある、小さなびょういんのイノ  
シシ先生は体が大きくて、おまけにモジャモジャか  
みの毛のこわい顔。けれども先生のところには、ち  
かくの山やたに、森からたくさんのかんじゃさんが  
やってきます。先生はみんなの話をよく聞いて、そ  
れぞれにぴったりの方法でなおしてくれる、うでの  
いいおいしゃさんなのです。





にんぎょう  
『人形つかい  
マリオのお話』

ラフィク・シャミ/作  
まつなが みほ やく  
松永 美穂/訳  
たなか あゆ こ え  
とくましょてん  
徳間書店

マリオは人形たちと、楽しくいろいろな人形劇を上  
演してきました。ある時、新しい劇が人気になると、  
毎日同じ劇ばかりやるようになってしまいました。  
たいくつした人形たちは、ハサミで自分の糸を切っ  
てしまいます。糸が切れた人形は、自分の気持ちを  
こめた思い思いの役を演じていきます。人形たち  
が望んでいることは、一体何なのでしょう。



『ぼくたちは  
みんな旅をする』

ローラ・ノウルズ/文  
クリス・マッデン/絵  
いしかわ なおき やく  
石川 直樹/訳  
こうだんしゃ  
講談社

これは動物たちのおどろくべき旅の話。冬眠のため  
巣穴をさがして 20 キロ移動するガーターヘビ、エサ  
のクラゲを求めて 1万キロ泳ぐオサガメ、子育てのた  
め北極から南極を移動するキョクアジサシ。理由はち  
がっても、自分たちのいごちのよい場所を求めて旅  
をします。動物たちが本能で知っている「旅」をする  
大切さを、わたしたちに語りかけてくれます。



『レミーさんの  
ひきだし』

さいとう りん さく  
斉藤 倫/作  
うきまる/作  
くらはし れい/絵  
しょうがくかん  
小学館

レミーさんの小さなたんすのひきだしには、役目を  
お終えたきれいな空き箱や空きびんがしまっておりま  
す。春の終わり、丸い空きびんにはいちごジャム、の  
っぱのガラスびんには夏野菜のピクルスが入りまし  
た。だんだんさみしくなるひきだしの中で、茶色い小  
箱は「わたしなんて…」と泣き出します。物を大切に  
するレミーさんと小物たちの心温まるお話。



『ぼくちの  
海賊トレジャ』

かしわば さちこ さく  
柏葉 幸子/作  
のみやま きょうこ え  
野見山 響子/絵  
かいせいしゃ  
偕成社

ものすごい雨の日、良太の家の屋根に海賊船が落  
ちてきました。やってきたのは海賊トレジャ! 「この世  
の果てにあるという青くて四角でうたう」たからもの  
をさがしにきたというのです。トレジャは良太と犬の  
チロにしかみえないのをいいことに、母さんの料理  
や田中屋のメロンパンもかってに食べちゃいます。  
早くたからものをさがさないでたいへんです。



『かえるの  
ごほうび』えまき ちようじゆうじんぶつぎ が  
絵巻 「鳥獣戯画」よりきじま はじめ  
木島 始/さく  
かじやま としお  
梶山 俊夫/レイアウト  
ふくいんかんしよてん  
福音館書店

つうしやう ちようじゆうぎ が  
通称『鳥獣戯画』は、800~900年前に描かれた  
こくぼう えまきもの すみ せん が  
国宝の絵巻物です。墨の線書きのユニークで躍動  
的 な絵は、漫画だけでなく、紙芝居やアニメーション  
のもとになったともいわれています。ウサギとカエル  
がのびのびと、まるで人間のように遊んでいます。  
いろいろな動物も加わって、楽しいおまつりのよ  
うな場面にお話がつきました。

『5000キロ逃げてきた  
アーメット』オンジャリQ. ラウフ/作  
くぼ ようこ やく  
久保 陽子/訳  
がっけん  
学研

ロンドンに住むアレクサは、転校生のアーメットが気  
になります。ひとみはライオンのようなのですが、びくびく  
して悲しそうなのです。すぐにかれが難民で、生まれ  
育った国シリアを出た理由や、イギリスまでの道  
のり、そして今、非常に苦しい状況であることを知  
ります。自分にできることは何かと考 え、アレクサが  
ともだち にん た けいかく こうどうりやく おどろ  
友達3人と立てた計画と行動力に驚かされます。

『ハロー、  
ここにいますよ』エリン・エントラーダ・ケリー/作  
たけとみ ひろこ やく  
武富 博子/訳  
ひやうろんしや  
評論社

じぶん にんげん  
自分は〈だめ人間〉だとなやむヴァージルと、悪夢を  
みつづ け続けているヴァレンシア。そんな2人から相談を受  
け、霊能力で解決しようとするカオリ。人を見下し、い  
つもヴァージルをいじめているチェット。この4人はち  
がう目的で同じ場所に向かうことになるのですが、こ  
れは偶然なのか、それとも…? とある夏の1日に起  
きた出来事を、それぞれの視点でえがく物語。

『baumクーヘンと  
ヒロシマ』

ドイツ人捕虜ユーハイムの物語

すやま ひろみ/著  
いちやう さなえ え  
銀杏 早苗/絵  
くもん 出版

しょうがく ねんせい そうた ひろしまけん にのしま  
小学6年生の颯太は、広島県似島でのbaumクーヘ  
ンづく たいけんちゆう か し はじ にっぽん とど  
ん作りの体験中、このお菓子を初めて日本に届けた  
ユーハイムの はなし き じん ほりよ  
ユーハイムの話を聞きます。ドイツ人捕虜、ユーハイ  
ムの焼いたbaumクーヘンが似島収容所の商品と  
して並んだのは「物産陳列館」。後に原爆ドームとよ  
ばれる建物でした。この体験を境に、颯太は戦争や  
自分の住む広島について考 えるようになります。